

平成18年度予算

予算編成の基本的な考え方

本年3月20日に5市町村が合併して誕生した新生「日光市」。広大な面積を有する新市にとって、「早期の一体感の醸成」と「各地域の均衡ある振興・発展」が必要です。

新市の財政状況は、観光産業の低迷や国の三位一体の改革などの影響により、非常に厳しい状況にあります。限りある財源を有効に配分し、地域間の均衡とそれぞれの地域の個性を生かすことを念頭に置きながら、それぞれの地域でこれまで計画・実施してきたものを尊重するとともに、実行できる共通サービスは全域で実施するということを基本に編成しました。

新市建設計画の基本方針に沿って、主な事業項目とその予算を紹介します。

くわしくは 財政課 財政係

☎(21)5162

会計別予算額

(単位：万円)

会計名	平成18年度当初予算額	平成17年度当初予算額	比較	前年度当初予算比(%)
一般会計	3,943,000	3,911,987	31,013	0.8
特別会計	2,754,117	2,665,475	88,642	3.3
国民健康保険事業	933,470	907,294	26,176	2.9
老人保健事業	961,457	928,532	32,925	3.5
介護保険事業	442,832	439,073	3,759	0.9
診療所事業	13,328	11,306	2,022	17.9
自家用有償バス事業	13,199	12,222	977	8.0
公設地方卸売市場事業	2,474	3,000	△526	△17.5
温泉事業	8,428	8,600	△172	△2.0
銅山観光事業	8,213	8,301	△88	△1.1
下水道事業	369,156	342,921	26,235	7.7
公共用地先行取得事業	1,560	4,226	△2,666	△63.1
企業会計	451,451	452,524	△1,073	△0.2
水道事業	441,794	437,768	4,026	0.9
リフト事業	9,657	14,756	△5,099	△34.6
合計	7,148,568	7,029,986	118,582	1.7

※平成17年度予算額は、旧5市町村及び一部事務組合の各予算額を合計したもののから、重複する負担金などを差し引いたものです。

一般会計予算の内訳

